

イベント

- ★ オープニング・セレモニー：9月28日(日) 11:00より  
 会場：大和ふれあいセンター「シトラス」
- ★ ティー・パーティー：9月28日(日) 11:30より
- ★ バスツアー：10月12日(日)、11月9日(日) 10:00-16:00  
 大和ふれあいセンター「シトラス」から作品鑑賞のためのマイクロバスを運行します。  
 (要予約、展覧会開始日・9月28日よりインフォメーションセンターで受け付けます。)

ボランティアによる催し

- ★ 大和撫子庵 (休憩所、お茶のサービス、会場のルートガイドなど)：  
 会期中の各日曜日を予定。
- ★ ボランティアグループ「手打ち蕎麦大好き会」による蕎麦実演販売：  
 会期中の各日曜日と、10月13日(祝日)、11月3日(祝日)を予定。  
 (会場等の詳細については、インフォメーションセンターでご確認ください。)

インフォメーションセンター

- ★ 大和ふれあいセンター「シトラス」〒309-1242 茨城県桜川市羽田989-1  
 9:00-17:00 Tel.080-5864-7932 (会期中のみ・受付直通)

問い合わせ

- ★ 桜川市真壁庁舎 文化生涯学習課内・国民文化祭事務局  
 Tel.0296-58-5111 内線3225・3226

ホームページ

- ★ <http://members.jcom.home.ne.jp/amabiki/>

紡ぎ継がれる風情

雨引の里と彫刻に集う作家たちは、この地に何を見出し何を表現しようとしているのだろうか？その魅力とはいったい何なのだろうか？

この地は古く寒冷の時代に、平地までブナに覆われたブナ帯文化を育んだ所だ。その後、縄文海進の時代に、ブナは加波山の山頂部にその名残を留め現在に至る。縄文海進の時代には、人々は山麓の汀線に沿って生活し、海の恵と山の幸の恩恵に授かった。その後、シイやカシの林に覆われたこの地では、野生のイモ類を食し、茶葉を加工して飲料とする生活を始める。照葉樹林帯文化といわれるものだ。後に稲作が伝わり農耕文化はあつという間に伝播し、つい先ごろまでその文化は続いた。綿花の生産や養蚕も盛んに行なわれた。

三方を山並みに囲まれ、頂から陽が昇り地平線に陽が落ちる雨引の里、そこには悠久より脈々と続いている人々の生活がある。このようにして紡ぎ継がれた風情に、作家たちの作品はどのような表情を見せてくれるか？

環境省 環境カウンセラー・茨城県環境アドバイザー  
 石井省三

交通手段

- ★ 常磐自動車道 谷和原IC・桜土浦IC・土浦北IC・水戸ICよりそれぞれ1時間程度かかります。
- ★ 北関東自動車道 桜川筑西ICより10分
- ★ JR水戸線 岩瀬駅下車 インフォメーションセンターまでタクシーで10分程度かかります。大和駅(無人駅)にはタクシーはありませんが岩瀬駅から呼ぶことができます。

主催

雨引の里と彫刻 実行委員会  
 文化庁  
 茨城県  
 茨城県教育委員会  
 桜川市  
 桜川市教育委員会  
 第23回国民文化祭茨城県実行委員会  
 第23回国民文化祭桜川市実行委員会



# AMABIKI 2008

## 雨引の里と彫刻 2008

SEPTEMBER 28 SUN - NOVEMBER 30 SUN 2008

2008年9月28日(日)-11月30日(日) 9:00-17:00

- |    |    |                             |    |    |                           |
|----|----|-----------------------------|----|----|---------------------------|
| 1  | 1  | 金沢健一<br>KANAZAWA Kenichi    | 22 | 22 | 廣瀬光<br>HIROSE Hikaru      |
| 2  | 2  | 和田政幸<br>WADA Masayuki       | 23 | 23 | 海崎三郎<br>KAIZAKI Saburo    |
| 3  | 3  | 金鉉淑<br>KIM Hyunsuk          | 24 | 24 | 國安孝昌<br>KUNIYASU Takamasa |
| 4  | 4  | 山崎隆<br>YAMAZAKI Takashi     | 25 | 25 | 西成田洋子<br>NISHINARITA Yoko |
| 5  | 5  | 宮沢泉<br>MIYAZAWA Izumi       | 26 | 26 | 齋藤さだむ<br>SAITO Sadamu     |
| 6  | 6  | いしばしめぐみ<br>ISHIBASHI Megumi | 27 | 27 | 山本糾<br>YAMAMOTO Tadasu    |
| 7  | 7  | 安田正子<br>YASUDA Masako       | 28 | 28 | 中村洋子<br>NAKAMURA Yoko     |
| 8  | 8  | 井上雅之<br>INOUE Masayuki      | 29 | 29 | 山本憲一<br>YAMAMOTO Kenichi  |
| 9  | 9  | 岡本敦生<br>OKAMOTO Atsuo       | 30 | 30 | 齋藤徹<br>SAITO Toru         |
| 10 | 10 | 大槻孝之<br>OTSUKI Takayuki     | 31 | 31 | 中村ミナト<br>NAKAMURA Minato  |
| 11 | 11 | 大島由起子<br>OHSHIMA Yukiko     | 32 | 32 | 島田忠幸<br>SHIMADA Tadayuki  |
| 12 | 12 | 高梨裕理<br>TAKANASHI Yuuri     | 33 | 33 | 菅原二郎<br>SUGAWARA Jiro     |
| 13 | 13 | 戸田裕介<br>TODA Yusuke         | 34 | 34 | 横山飛鳥<br>YOKOYAMA Aska     |
| 14 | 14 | 平井一嘉<br>HIRAI Kazuyoshi     | 35 | 35 | 古川潤<br>FURUKAWA Jun       |
| 15 | 15 | 中井川由季<br>NAKAIGAWA Yuki     | 36 | 36 | 槇 渉<br>MAKI Wataru        |
| 16 | 16 | 松田文平<br>MATSUDA Bumpei      | 37 | 37 | 大栗克博<br>OHGURI Katsuhiro  |
| 17 | 17 | 佐藤晃<br>SATO Akira           | 38 | 38 | 山上れい<br>YAMAJO Rei        |
| 18 | 18 | 志賀政夫<br>SHIGA Masao         | 39 | 39 | 藤島明範<br>FUJISHIMA Akinori |
| 19 | 19 | 村井進吾<br>MURAI Shingo        | 40 | 40 | 田中毅<br>TANAKA Tsuyoshi    |
| 20 | 20 | 小日向千秋<br>KOBINATA Chiaki    | 41 | 41 | 鈴木典生<br>SUZUKI Norio      |
| 21 | 21 | 山添潤<br>YAMAZOE Jun          | 42 | 42 | 望月久也<br>MOCHIZUKI Hisaya  |

★出品作家(作品コース順)

